

新刊

開発経済学入門 第2版

戸堂康之著 A5・320頁・定価 2860円

【2色刷】

開発途上国が経済的に発展するメカニズムやそのために必要な政策について、経済学の専門的な知識がなくとも読みこなせるよう平易に解説した入門書の最新版。統計データを更新し、RCTの研究紹介を拡充して、最新の途上国経済の状況と学術研究の流れを踏まえた内容とした。

新刊

例題から学ぶマクロ経済学の理論

武隈慎一著 A5・168頁・定価 1628円

【2色刷】

マクロ経済学の基礎的な理論を演習形式で解説。掲載した例題・練習問題は著者が過去に大学定期試験、大学院入試、公務員試験等に作成・出題した問題を元に新たに作成したもので、精選されたこれらの問題に取り組むことで読者は斯学を速やかにマスターすることができる。

■ ライブラリ 経済学15講

新刊

国際金融論15講

佐藤綾野・中田勇人著 A5・288頁・定価 2640円

【2色刷】

グローバル化がすすむ今日、国境を越えるお金のやりとり、そして海外の経済を考慮した場合のマクロ経済についての知識は、ますます重要性を高めている。こうした国際金融論の基礎について初学者でも理解できるように、多くの図表やコラムを援用して解説した最新の入門書。

新刊

経済数学15講

小林 幹・吉田博之著 A5・256頁・定価 2420円

【2色刷】

経済理論を学ぶために必須の数学的知識をまとめ、それらが経済学においてどのように使われるかを解説。二部構成として、前半では標準的計算問題の解法を、後半では中級レベルの経済理論における数学の適用例を説明する。例題と多数の練習問題を設け理解の定着を配慮。

新刊

実験経済学・行動経済学15講

和田良子著 A5・336頁・定価 2970円

【2色刷】

人間の経済行動と経済理論の対応を追究した2つのアプローチ、実験経済学と行動経済学についてイラストも交え初学者にも親しみやすく愉しく説き明かす入門テキスト。それら2つの学問の研究成果と相違点をテーマごとに解説し、現実の問題への応用や手法についても紹介。

〈好評既刊〉

財政学15講 麻生良文・小黒一正・鈴木将覚著 A5・296頁・定価 2585円

計量経済学15講 小巻泰之・山澤成康著 A5・224頁・定価 2145円

統計学15講 山本庸平著 A5・256頁・定価 2200円

公共経済学15講 佐藤主光著 A5・304頁・定価 2640円

医療経済学15講 細谷 圭・増原宏明・林 行成著 A5・304頁・定価 2640円

日本経済論15講 脇田 成著 A5・256頁・定価 2530円

経済学のための数学の基礎15講 小林 幹著 A5・176頁・定価 1650円